

# ソニーの成長戦略における知的財産部門の貢献実績と今後の課題

## はじめに

ソニーは、世界有数のエレクトロニクスメーカーであり<sup>1</sup>、ゲーム、音楽、映画など多岐にわたる事業を展開しています。その成長を支える重要な要素の一つが、知的財産戦略です。ソニーの知的財産部門は、同社の事業成長において重要な役割を担っています。<sup>2</sup> 本稿では、ソニーの成長戦略における知的財産部門の貢献実績と今後の課題について、多角的な視点から考察していきます。

## ソニーの知的財産部門の役割と活動内容

ソニーの知的財産部門は、研究開発、設計、製造、販売といったあらゆる事業活動において、知的財産の創出、保護、活用を推進する役割を担っています。具体的には、以下の活動を行っています。<sup>3</sup>

- **特許戦略:** 特許出願、権利化、侵害対策などを行い、ソニーの技術を保護するとともに、競争力を強化しています。
- **商標戦略:** ブランド価値向上のため、商標の取得、管理、活用を行っています。
- **著作権管理:** 音楽、映画、ゲームなどのコンテンツの著作権を管理し、不正利用を防いでいます。
- **ライセンス契約:** ソニーの技術やコンテンツを他社にライセンス供与することで、収益を拡大しています。
- **知的財産リスクマネジメント:** 知的財産に関するリスクを分析し、適切な対策を講じています。
- **人材育成:** 知的財産に関する専門知識やスキルを持つ人材を育成しています。

## ソニーの成長戦略における知的財産部門の貢献実績

ソニーの知的財産部門は、これまで数々の貢献実績を上げてきました。具体的には、以下のような事例が挙げられます。

- **イメージセンサー:** ソニーは、世界トップシェアを誇るイメージセンサーにおいて、長年にわたり技術開発と特許取得を進めてきました。<sup>4</sup> これにより、スマートフォンやデジタルカメラなどの市場で競争優位性を築き、収益拡大に貢献しています。
- **エンタテインメント事業:** 音楽、映画、ゲームなどのエンタテインメント事業においても、知的財産は重要な役割を果たしています。著作権管理、ライセンス契約などを 통해コンテンツの価値を守り、収益化を図っています。<sup>3</sup> 2024年度上半期における音楽分野の売上高は前年同期比2.2%増の5兆9,172億円、営業利益は同36.5%増の5,701億円と好調に推移しています。<sup>5</sup>

- **ブランド価値向上:** ソニーは、米国で最も信頼されるグローバルブランドの第4位にランクインしています。<sup>1</sup> 長年培ってきた技術力や高品質な製品、革新的なサービスによって、高いブランド価値を維持しています。

ソニーの製品やサービスは、ソニーとユーザーをつなぐインターフェースとして機能し、ブランド価値向上に貢献しています。<sup>6</sup> 例えば、ソニーパークは、「マイ・ファースト・ソニー」をコンセプトに、顧客がソニーの製品やサービスを体験できる場を提供することで、ブランドイメージの向上に貢献しています。<sup>7</sup>

## オープンイノベーションと知的財産

ソニーは、知的財産を活用したオープンイノベーションにも積極的に取り組んでいます。<sup>8</sup>

例えば、米粉から生まれた天然由来の多孔質カーボン素材「Triporous™」<sup>8</sup> は、その独特の微細構造で特許を取得し、循環型社会に貢献できるとさまざまな分野にて製品やソリューションの開発をパートナー企業と展開しています。Triporous™は、ソニーのオープンイノベーションにおける知的財産活用の成功事例であり、事業成長とSDGsへの貢献を両立させています。

## ソニーの知的財産部門が直面する課題

ソニーの知的財産部門は、以下の課題に直面しています。

- **グローバル化の進展:** グローバル化に伴い、海外企業との競争が激化しており、知的財産戦略の重要性が増しています。海外における特許取得、権利保護、侵害対策などを強化する必要があります。
- **技術革新の加速:** 技術革新が加速する中、新たな技術分野における知的財産戦略の構築が求められています。AI、IoT、メタバースなど、新領域における特許取得、権利化などを積極的に進める必要があります。<sup>9</sup> 特に、メタバースのような仮想空間においては、アバターの特許権や骨格データの取り扱いなど、新たな課題も生まれており、適切なルール作りや法整備が急務となっています。<sup>10</sup>
- **人材不足:** 知的財産に関する専門知識やスキルを持つ人材が不足しています。人材育成、採用などを強化し、知的財産部門の体制を強化する必要があります。<sup>9</sup> 知財部門のリソースには限りがあるため、個々人のパフォーマンス向上、人材育成、知財の枠にとらわれない活動支援などが重要となります。<sup>9</sup>
- **知財リスクの増大:** 特許紛争、模倣品対策など、知的財産に関するリスクが増大しています。リスクマネジメント体制を強化し、適切な対策を講じる必要があります。<sup>11</sup>
- **無形資産の重要性:** 近年、生産設備などの有形資産よりも、ノウハウやアイデアといった無形資産の重要性が増しています。<sup>12</sup> ソニーは、特許などの権利化だけでなく、特許取得の周辺にあるノウハウやナレッジを適切に管理し、競争優位性を維持していく必要があります。

<sup>12</sup>

## ソニーの知的財産部門の今後の展望

ソニーの知的財産部門は、以下の展望を掲げています。

- **新領域への挑戦:** メタバース、宇宙開発など、新領域における知的財産戦略を積極的に展開していきます。<sup>3</sup> 例えば、メタバース分野では、没入型コンサート体験「イマーシブリアリティ・コンサート」<sup>10</sup>を提供するなど、新たな技術開発やサービス創出に取り組んでいます。
- **オープンイノベーションの推進:** 知的財産を活用したオープンイノベーションをさらに推進し、新規事業創出を加速させます。<sup>14</sup> 社会課題に取り組むスタートアップ企業などを支援する「I-OPEN プロジェクト」<sup>14</sup>などを通じて、外部との連携を強化しています。
- **グローバル知財戦略の強化:** 海外における知的財産権の取得、保護、活用を強化し、グローバル競争力を強化します。
- **ESG への貢献:** 知的財産を通じて、環境問題、社会問題の解決に貢献していきます。<sup>11</sup> 例えば、「OES プロジェクト (Open Energy System)」<sup>11</sup>では、既存特許に ESG の観点を追加することで、持続可能な社会の実現に貢献しています。

## 競合他社の知的財産戦略

ソニーの競合他社も、それぞれ独自の知的財産戦略を展開しています。

例えば、アップルは、デザイン性と使いやすさを重視した製品開発を行い、特許や意匠権を取得することで、模倣品対策やブランド価値向上を図っています。また、他社が真似できない独自技術の特許出願することで、「独占権」を取得し、自社の権利を守っています。<sup>15</sup> サムソンは、積極的な特許出願とクロスライセンス契約を通じて、競争力を強化しています。

## ソニーの知的財産：強みと弱み

強み	弱み
幅広い事業領域をカバーする知財ポートフォリオ <sup>4</sup>	知的財産情報の開示不足 <sup>4</sup>
優秀な人材 <sup>4</sup>	知財リスクマネジメントの改善の余地 <sup>4</sup>
グローバルな視点 <sup>4</sup>	

## 専門家の意見

専門家からは、ソニーの知的財産部門について、上記のような強みと弱みが指摘されています。<sup>4</sup> ソニーは、これらの意見を参考に、知的財産部門の強化を図る必要があります。

## 結論

ソニーの知的財産部門は、これまでソニーの成長に大きく貢献してきました。今後、グローバル化、技術革新の加速、人材不足、知財リスクの増大といった課題を克服していく必要があります。<sup>9</sup> 特に、近年重要性が増している無形資産の戦略的な投資・活用は、ソニーの競争力維持に不可欠です。<sup>12</sup> 新領域への挑戦、オープンイノベーションの推進、グローバル知財戦略の強化、ESG への貢献といった取り組みを通じて、さらなる成長を遂げることが期待されます。

## 引用文献

1. 今米国で最も信頼されるグローバルブランドに SONY や HONDA がランクイン - amana INSIGHTS, 1月6, 2025 にアクセス、<https://insights.amana.jp/article/39248/>
2. 07 ソニー 知財・コミュニケーション担当 清水 至「宇宙開発の新たな道を拓きたい」, 1月6, 2025 にアクセス、<https://sony-startup-acceleration-program.com/article510.html>
3. ソニーグループポータル | ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン | PEOPLE | 柔軟にしなやかに多様性を生かし、新しい価値を創造する - Sony, 1月6, 2025 にアクセス、<https://www.sony.com/ja/SonyInfo/diversity/people/39.html>
4. クリエイティビティとテクノロジーを資産に変え、その価値を最大化する。ソニーの知財業務の魅力に迫る！ - Sony, 1月6, 2025 にアクセス、<https://www.sony.com/ja/SonyInfo/DiscoverSony/articles/202312/IP/index.html>
5. Sony Business Segment Meeting 2024 All Materials\_J, 1月6, 2025 にアクセス、[https://www.sony.com/ja/SonyInfo/IR/library/presen/business\\_segment\\_meeting/pdf/2024/presentation\\_J.pdf](https://www.sony.com/ja/SonyInfo/IR/library/presen/business_segment_meeting/pdf/2024/presentation_J.pdf)
6. ソニー企業社長に聞く ブランド価値はタンジブルからインタンジブルへ（インタビュー後編） | BLOG, 1月6, 2025 にアクセス、<https://bannistar.com/blog/%E3%82%BD%E3%83%8B%E3%83%BC%E4%BC%81%E6%A5%AD%E7%A4%BE%E9%95%B7%E3%81%AB%E8%81%9E%E3%81%8F%E3%80%80%E3%83%96%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%83%89%E4%BE%A1%E5%80%A4%E3%81%AF%E3%82%BF%E3%83%B3%E3%82%B8%E3%83%96/>
7. 人がやらないことやるのがソニー、キーワードは What if...（解説編後編） | BLOG | バニスター株式会社 - ブランディングデザイン、ブランド戦略, 1月6, 2025 にアクセス、<https://bannistar.com/blog/%E4%BA%BA%E3%81%8C%E3%82%84%E3%82%89%E3%81%AA%E3%81%84%E3%81%93%E3%81%A8%E3%82%84%E3%82%8B%E3%81%AE%E3%81%8C%E3%82%BD%E3%83%8B%E3%83%BC%E3%80%81%E3%82%AD%E3%83%BC%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%83%89%E3%81%AFwh/>
8. 共創を加速する知財戦略 - ソニーの新素材プロジェクトを紐解く - | スピーダ(Speeda), 1月6, 2025 にアクセス、<https://jp.ub-speeda.com/seminar/20220623/>
9. 経営における 知的財産戦略事例集 - 特許庁, 1月6, 2025 にアクセス、[https://www.jpo.go.jp/support/example/document/keiei\\_senryaku\\_2019/keiei\\_chizaisenryaku.pdf](https://www.jpo.go.jp/support/example/document/keiei_senryaku_2019/keiei_chizaisenryaku.pdf)
10. 「技術の向上とユーザーの意識の変化——二つが重なった今だからこそ、新領域に挑みます」ソニーグループ株式会社 - 特許庁 広報誌「とつきよ」2022年8月1日発行号, 1月6, 2025 にアクセス、[https://www.jpo.go.jp/news/koho/kohoshi/vol53/01\\_page4.html](https://www.jpo.go.jp/news/koho/kohoshi/vol53/01_page4.html)
11. ソニーの取組事例のご紹介, 1月6, 2025 にアクセス、

[https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tyousakai/tousi\\_kentokai/dai3/siryoku6.pdf](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tyousakai/tousi_kentokai/dai3/siryoku6.pdf)

12. 「知財を活躍させる企業統治」とは。プロが明かす重要ポイント【前編】，1月6, 2025にアクセス、<https://journal.meti.go.jp/p/23628/>

13. ニュースリリース | ソニーグループ株式会社 2024 年度経営方針説明会 - Sony, 1月6, 2025にアクセス、<https://www.sony.com/ja/SonyInfo/News/Press/202405/24-022/index.html>

14. 「想い×知的財産」で社会課題解決をサポートする特許庁「I-OPEN プロジェクト」，1月6, 2025にアクセス、[https://www.sonydesignconsulting.com/article/pr\\_0030/](https://www.sonydesignconsulting.com/article/pr_0030/)

15. 事業課題に対応した知財のアクションガイド - 特許庁, 1月6, 2025にアクセス、<https://www.jpo.go.jp/resources/report/chiiki-chusho/document/hands-on/action-guide.pdf>